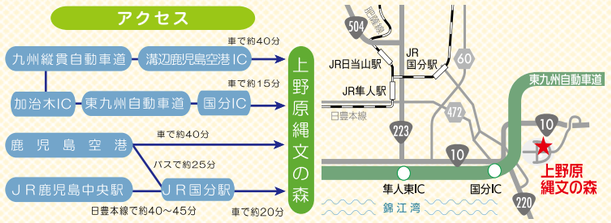
～令和３年度下半期のイベント情報～

月	日	曜日	申込	行事名	料金	備考
10月	開催中			河口コレクション 第２回（令和４年１月14日（金）まで） 「河口貞徳氏の軌跡Ⅳ」	展示館利用料金	
	開催中			**第61回企画展**（11月７日（日）まで） **「新発見！かごしまの遺跡2021～発掘調査速報展～」**	展示館利用料金	
	16・17	土・日		**第18回縄文の森秋まつり**	入場無料	体験活動は有料
	30	土	※	縄文の森不思議探検 第2回「縄文の森から星座を観察しよう」	無料	小・中学生の親子
11月	20～	土～		**第62回企画展**（令和４年３月６日（日）まで） **「海と活きた古代人Ⅱ～古墳時代から近世の鹿児島～」**	展示館利用料金	
	27	土	※	考古学講座 第４回「御楼門散策～鹿児島（鶴丸）城を歩く～」	100円	大人向け
12月	4	土	※	つくってドキどき体験 第４回「縄文リースを作ろう」	500円	小学生以上（小学生は保護者同伴）
	5	日	※	霧島周遊観光バスタイアップ事業 大人向け特別体験「特別な時間」	霧島周遊観光バス料金 展示館利用料金	申込は鹿児島交通（0995-45-6733）
	18	土	※	どんぐりイベント「縄で作る正月飾り＆干し柿作り」	昼食代400円 材料代500円	
	19	日	※	門松を作ろう	一対1,500円	小学生以上
令和4年1月	15～	土		河口コレクション 第３回（令和４年５月１３日（金）まで） 「標式遺跡シリーズⅤ」	展示館利用料金	
	22	土	※	どんぐりイベント「節分を楽しもう」	400円	
2月	5	土	※	第62回企画展講演会 講師：國學院大學　研究開発推進機構教授　池田榮史　氏	100円	大人向け
	12	土	※	つくってドキどき体験 第５回「森の実で染め物体験をしよう」	500円	小学生以上（小学生は保護者同伴）
	26	土	※	考古学講座 第５回　「遺跡は語る」	100円	大人向け
3月	11～	金～		ミニ企画展（４月３日（日）まで） 「海と活きた古代人Ⅱ～古墳時代から近世の鹿児島～」	展示館利用料金	
	19	土	※	どんぐりイベント「ふれあい体験」	400円	

○期間や内容が変更になることがあります。詳細については、ホームページまたは上野原縄文の森までお問い合わせください。
○「※」がついているイベントは事前申込が必要です。上野原縄文の森にお電話かメールでお申し込みください。
○イベントの中込受付は、各実施日の３ヶ月前から開始します。

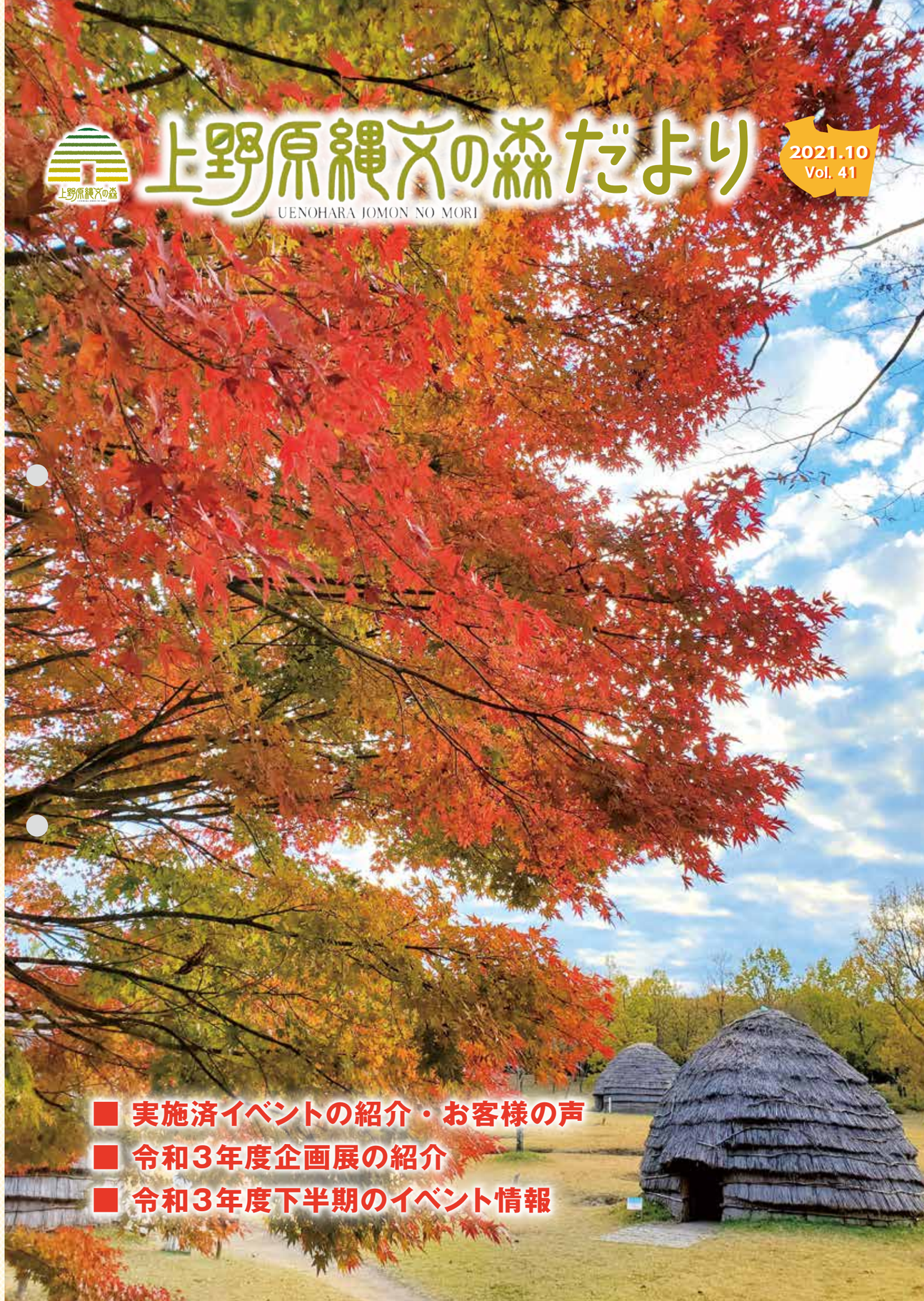
【開園時間】 午前９時～午後５時（展示館入館は午後4時30分まで）
【休園日】 毎週月曜日（休日に当たるときは、その翌日）
12/30～1/1(年末年始)、2月中旬(臨時休園)(1/2～1/3, 4/29～5/5, 8/13～8/15は無休)
【展示館利用料金】（団体は20人以上）　※展示館内の展示室・シアターのみ有料
◇個人　小・中学生 **150円**　高・大学生 **210円**　大人 **320円**
◇団体　小・中学生 **120円**　高・大学生 **160円**　大人 **250円**
（鹿児島県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り）
（団体でご利用（展示館・体験学習館など）の場合は事前にご相談ください）
◇鹿児島県内にお住まいの70歳以上の方は，展示館利用料金が無料です。
◇鹿児島県内にお住まいの小・中・高校生は土・日・祝日に限り，展示館利用料金が無料です。
（いずれも年齢等が確認できる書類をご持参ください。）

アクセス



公益財団法人　鹿児島県文化振興財団　上野原縄文の森
〒899-4318 霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995) 48-5701 FAX(0995) 48-5704
URL https://www.jomon-no-mori.jp　E-mail : uenohara@jomon-no-mori.jp

ホームページ　公式Facebook　公式Twitter



上野原縄文の森だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2021.10
Vol. 41

■ 実施済イベントの紹介・お客様の声
■ 令和３年度企画展の紹介
■ 令和３年度下半期のイベント情報

～実施済イベントの紹介・お客様の声～

つくってドキどき体験 第2回「縄文土器を作ろう」

つくってドキどき体験は，古代の人たちの知恵や工夫に気づき，縄文の森の自然に親しむ活動として年５回開催されています。７月22日（木・祝）に開催された「縄文土器を作ろう」では，粘土を使った土器作りに挑戦しました。「輪積み」という方法で，輪っか状の粘土を積み重ねて形を作りました。南九州の縄文時代の土器は，貝殻を使って付けた文様が特徴で，みんな貝殻を使いとても素敵な文様を付けていました。完成した土器は，きれいに焼き上がりました。

どんぐりイベント「本格派流しそうめん&工作」

昨年度は，新型コロナウイルス感染症の影響で年間６回計画されていたどんぐりイベントは中止を余儀なくされました。今年度は，感染防止対策を講じながらイベントを実施するために，大幅な発想の転換を図り，メンバーで知恵を出し合い開催しました。新型コロナウイルスで私たちの生活様式は大きく変わることになりましたが，そのお陰で原点回帰につながり，どんぐり倶楽部のモットーである「一期一会」を再認識するイベントとなりました。

縄文の森不思議探検「みんなが知らないむしの世界」

縄文の森不思議探検は，「自然に秘められた謎を解き明かそう！」をテーマに年２回実施しています。８月８日（日・祝）には，鹿児島県立国分高等学校の先生と生徒の皆さんによる，「むし」に関する講座が開催され，今回は特にゴキブリに焦点を当ててご紹介しました。高校生のお兄さんたち（熱いゴキブリ愛あふれる）による，学校でのゴキブリの研究成果の発表や，実際に生きたゴキブリに触れてみる体験などを通して，「ゴキブリって，ちょっとかわいいかも！」「ゴキブリっておもしろい！」と思い始めた参加者がたくさんいたようです。

考古学講座 第3回 ～文字から見る鹿児島の古代～

上野原縄文の森で，考古学や文化財により深く親しめると好評の「考古学講座　第３回～文字から見る鹿児島の古代～」が，７月４日（日）に開催されました。

今回は，ラ・サール学園　教諭　永山 修一氏を講師に迎え，鹿児島県から出土した墨書土器や刻書土器などの文字資料から鹿児島県の古代の様相について講演していただきました。

語られることの少ない律令国家下の南九州の様相について，多彩な資料で解説し明らかにしていく内容に参加者も引き込まれ，熱心に耳を傾けていました。最後には質問も飛び交う大変充実した講座となりました。

お客様の声

【つくってドキどき体験第３回～めざせ縄文人！弓矢作り～】

以前別のイベントで参加させていただき，子どもが「また参加したい！」と言ったので今回も参加させていただきました。ガスバーナーを使用し，竹をあぶるなど本格的な道具の使用に慣れない様子でしたが，立派な弓矢が完成して息子も満足している様子でした。

夏休みの良い思い出ができました。

【来園者からいただいたお便り（一部抜粋）】

霧島市にUターンして数年が経ち，初めて上野原縄文の森を訪問いたしました。見学エリアでは風がそよぎ，空気が綺麗で鳥のさえずりが響きわたり，竪穴式住居を眺めているとまるで古代にタイムスリップしたかのような，映画の世界に入り込んだような素晴らしいひとときを体感することができました。

展示館で見学した土器の数々は非常に興味深いもので，土器に模してある貝殻の模様は幾何学的でとっても綺麗で素敵でした。縄文時代に思いを馳せ，当時の暮らしを想像することができました。今の時代を生きる自分と，当時の人々の豊かさや価値観はどれほど異なるのだろうと考えながら，気忙しい日常を忘れロマンに浸ることができました。

こんな素晴らしい場所があることに大変感動しました。

次回は体験エリアを訪問します。楽しみです。

～令和3年度企画展の紹介～

上野原縄文の森 第61回企画展

新発見 かごしまの遺跡 2021 発掘調査速報展

令和３年 11/7（日）まで開催中

令和２年度に発掘調査や報告書が刊行された遺跡の中から「江戸時代の犬追物馬場」が確認された鹿児島城跡（犬追物馬場・火除地）や大隅半島で縄文時代前期から中期の土器が多く出土した細山田段遺跡など話題となった遺跡を中心に紹介し，最新の発掘調査成果を紹介しています。

また，今回，県内市町村で話題となった西之表市の縄文時代早期の玉類や，県の有形文化財に指定された出水貝塚出土品なども紹介しています。

船の一部（舷側板）。弥生時代前期後半（約 2,500 年前）。【中津野遺跡】（南さつま市）

縄文時代前期から中期の土器【細山田段遺跡】（鹿屋市串良町，曽於郡大崎町）

高熊山で出土した銃弾と薬莢（伊佐市）

（背景）杭列【鹿児島城（犬追物馬場・火除地）】（鹿児島市）

犬追物とは…走り回る犬を，馬に乗った射手が矢で射る，鎌倉時代より続く馬術武芸の１つです。矢は犬を傷つけないように，先が平らな弓が用いられていました。鎌倉幕府の記録「吾妻鏡」にある，承久4（1222）年が最も古い記録で，これに島津家２代忠時が参加しています。

鉄砲伝来後に衰退していきましたが，島津家は行い続けました。正保4（1647）年，19代光久が将軍徳川家光を招いて催し，これ以降，お家芸として知られるようになります。後に島津家でも行われなくなりますが，25代重豪が再興します。29代忠義は非常に関心を持ち，２度も明治天皇の前で催しました。

上野原縄文の森 第62回企画展

海と活きた古代人II

古墳時代から近世の鹿児島

令和３年 11/20（土）▶ 令和４年 3/6（日）

企画展講演会（要事前予約）

共催：霧島市教育委員会 きりしま歴史散歩

令和４年２月５日（土）午前10時～正午

場　所：霧島市国分シビックセンター 多目的ホール

講　師：國學院大學研究開発推進機構教授 池田　榮史　氏

人はいつの時代も海と深い関わりを持って生活しています。

昨年度に開催した「海と活きた古代人～旧石器時代から弥生時代の鹿児島～」の第２弾として，貿易陶磁器や中国銭，須恵器製作の技術，仏教の伝来など，海を越えて伝わった「モノ・技術・情報」の交流について，古墳時代から近世の鹿児島に焦点を当て関連する考古資料を展示します。また，蒙古襲来（元寇）に関連する沈没船が発見された鷹島神崎遺跡（長崎県松浦市）や中国製の大量の陶磁器が発見された倉木崎海底遺跡（宇検村）など，近年，その調査方法や成果が注目されている“水中考古学”についても出土遺物とともに紹介します。